



一人権だより

vol.35

【人権出前講座のご案内】

平

成25年が残り約1カ月となった11月27日(水)、13時30分から、主に桂川町人権擁護委員の皆さんを対象とした「桂川町人権出前講座」を実施しました。

会場は、飯塚法務局内の会議室で行われ、講師に桂川町人権教育啓発推進委員会会長の坂田勲氏をお招きし、「人権・憲法について」という題で研修を行いました。

基本的な人権についての話から始まり、イギリスやアメリカを介してフランスの三大近代革命などの紹介、人権概念のおこりなどについて、講義をされました。

参加された委員からは、「大変参考になった」との感想が出されました。



【問合先】

桂川町大字土居三六〇番地 桂川町人権センター内
隣保・人権同和教育係 (☎65・1187)

【人権啓発交流

フェスティバルのご報告】

人権週間に当たる12月8日(日)、10時30分より、嘉麻市のなつき文化ホールにて、人権啓発交流フェスティバルが開催されました。今回は、阿波木偶箱廻しとして「三番叟」や「えびす舞」が紹介されました。

箱廻しの「三番叟」は、正月の祝福芸で徳島県独自の無形文化財です。

「参加者に福が訪れますように…」と、木偶を操りながらステージから観客席を練り歩くと、会場は大変賑わいました。

芝原生活文化研究所の代表で、阿波木偶箱廻し保存会の辻本氏は、人権・同和問題についてグローバルに話をされ、会場は大きな拍手に包まれました。



TOPIC

人権の花の風船が

熊本市まで届き笑顔！

12月13日(金)、桂川小学校で人権の花感謝状贈呈式が行われ、感謝状と記念品のソフトボールなどが、人権擁護委員から桂川小学校3年生の生徒に渡されました。

今年の4月から同小学校の生徒によって育てられていた人権の花「ひまわり」。10月、その種と生徒1人1人のメッセージが取り付けられた風船が上空に放たれました。

風船は、風に運ばれて朝倉市や久留米市、そして熊本市まで飛んでいき、風船を受け取った人から「思いやりのひまわりの種をありがとう」と手紙が届きました。

自分の風船が熊本市まで飛んだ同小学校3年4組の上村航太くん(うへむらこうた)と野村真翔くん(のむらまなと)は、「すぐ木に引っ掛かると思ったけど、熊本市まで飛んでびつくりした」と笑顔で語りました。



▲野村真翔くん(左)と上村航太くん(右)。



▲思いやりの心を忘れずに！